

## 今日のキーワード 拡大するアジアの『物流』を支える最新テクノロジー

インターネット通販（eコマース）が国際的に拡大する一方、日本では人手不足が顕著となっています。こうした中、先日、隔年開催のアジア最大級の『物流』（ロジスティクス）の専門展示会である「国際物流総合展2018」が開催され、カメラやセンサーを活用したAIロボットなど様々な最新テクノロジーが紹介されました。これらは、今後も拡大が見込まれるアジアの『物流』の効率化や省人化に貢献することが期待されます。

### ポイント1

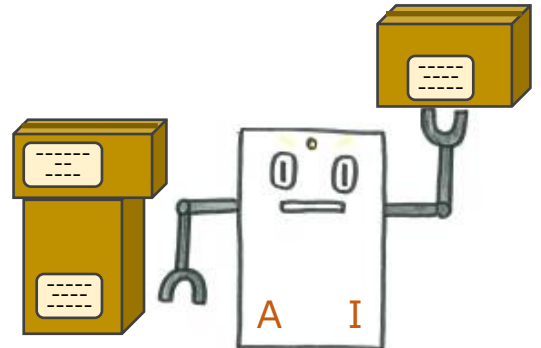
## 「国際物流総合展2018」で『物流』の最新動向をチェック 475社が出展、前回は大きく上回る来場者を集める盛況ぶり

- 9月11日～14日、東京ビックサイトにおいて「国際物流総合展2018」が開催されました。「国際物流総合展」は、経済活動のインフラとして不可欠な『物流』の先進情報が収集できるアジア最大級の専門展示会です。1994年の初回以降、隔年で開催されています。13回目となった今回は、国内外から過去最大規模の475社が出展し、4日間で74,520人と前回の64,071人を大きく上回る来場者を集める盛況となりました。
- 各日、IoTやビッグデータ、AIなどの新たな技術が『物流』にもたらしている最新動向などをテーマに講演が行われた他、「ロジスティクスの今を知り未来に触れる」をテーマに、運搬車両や仕分け・ピッキング（倉庫から品物を選出する作業）システム、情報システムなど、『物流』に関する様々な製品やサービスが紹介されました。

### ポイント2

## IoTやAIなどを活用した最新テクノロジー AIロボットによる次世代型の物流センターなどに注目

- 今回は、IoTやAIなどの最新デジタル技術を用いた展示が見どころの一つでした。例えば、全方向に滑らかに最適経路を自律搬送・走行するAI搬送ロボットを活用した工場内物流の自動化システムや、知能化されたロボットによる最先端のピッキングなど、工場や倉庫内の自動化といった次世代型の物流センター像などが紹介されました。
- また、自動走行ロボットが作業する人を自動で追跡し、障害物を避けながら、渡された商品を指定の場所まで運ぶといった、人との連携を図ったテクノロジーなども注目されました。



### 今後の展開

## 拡大するアジアの『物流』の効率化・省人化への貢献に期待

- 日本国内をはじめ、『物流』の現場では人手不足が顕著になってきています。また、世界最大規模のeコマース市場であるアジアでは、今後も『物流』のニーズが増すと考えられ、『物流』の現場では効率化・省人化が課題の一つとなっています。今回の「国際物流総合展2018」で紹介された最新のテクノロジーが今後も拡大するアジアの『物流』に貢献すると期待されます。

### ここも チェック!

2018年6月 7日 『越境EC』でも発揮される中国の消費パワー  
2018年5月28日 ネット通販の急増で成長する中国の『宅配事業』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。